

第2学期終了



さつきやま魂

崎山中学校だより
12月24日 第15号
文責 校長 山下



第2学期が終業し、明日から14日間の冬休みに入ります。今日の終業式では、1年代表の小幡一路君、2年代表の熊川俊汰君、3年代表の山本桃花さんが、2学期を振り返っての反省と3学期に向けての課題を堂々と発表しました。

私からは、2学期を振り返り、いろいろな行事をとおして、子どもたちの成長が実感できたこと伝えました。特に、9月の小・中運動会での「ちゃんこ」「さつきやまソーラン」を継承するための3年生の頑張りや11月の合唱祭に向けての各学年の意欲的な取組はすばらしかったです。また、市内音楽発表会では、外部の観客から、「胸にジーンときて涙がでました。」という感動的な感想もいただきました。一生懸命に頑張ったことは、見ている人に感動を与えることを改めて実感することができました。子どもたちに感謝です。

最後に、明日からの冬休みに向けて、三つをお願いをしました。一つ目は、2020年、令和2年、新年を迎えるにあたり、「本気の志を立ててほしい」ということです。志とは、「心に思い決めた目的や目標」のことです。志が本気でないと意味がありません。本気だからこそ、達成させるために最大限の努力をするはず。二つ目は、年末年始にあたり、それぞれの家庭で「家族の一員としての役割をしっかりと果たしてほしい。」ということ。大掃除の手伝いはもちろん、年始の挨拶など、各家庭で役割は違うと思いますが、その責任を果たしてほしいと思います。三つ目は、最も大切なことですが、休み中、事件・事故に遭わず、1月8日の始業式の日には全員元気に登校することです。三つのことを意識して、一人ひとりが有意義な冬休みを過ごすことを願っています。

今年も残り一週間となりました。4月から約9か月、新任校長として至らない点も多く御迷惑をおかけしたと思います。保護者や地域の方々から協力していただいたおかげで無事今年を終えることができたようです。本当にありがとうございます。どうぞよいお年をお迎えください。



新生徒会役員決まる！

12月11日生徒会役員選挙が行われ、新しい生徒会長、副会長が選出されました。今年は、生徒会長に5名、副会長に2名の生徒が立候補するなど、子どもたちのやる気を大いに感じた立会演説会となりました。

生徒会長の委託を受け、全ての生徒会役員が決定し、20日には、生徒会役員任命式及び生徒会引き継ぎ式が行われました。なお、新生徒会役員は次のとおりです。

会長	境脇愛十
副会長	里中知矢
書記	藤尾依千乃
生活部長	大里莉久
学習部長	熊川俊汰
保給部長	入江柚月

3学期からは、この新生徒会役員を中心とした新しい生徒会活動が始まります。境脇新生徒会長の公約は、「よりよい挨拶 よりよい取組」です。きっと、挨拶がこたまするよりよい崎中を目指し、全力で頑張ってくれることでしょう。



＜新旧の生徒会役員＞

全年で歯磨き指導

保健便りでもお知らせしましたが、全年で、歯磨き指導を行いました。3年生の保健給食部員が説明し、養護教諭の指導のもと、特殊な薬剤を用いて行いました。子どもたちは、食後の歯垢を確認し、歯磨きのポイントを把握することができました。



＜歯垢がいつぱい！＞



【冬休みの思い出】

小学生の頃、冬休みと言えば、毎年、遊びの定番があった。「コマ、あ、メンコ（メンチ）」である。中でも、「お正月には風あけて、コマを回して・・・」と歌にあるように、風あげとコマは、冬休み特有の遊びであり、日本文化の一つではないかと思う。当時、小学生の力ではバラモン風を作るのは難しく、四角風（長崎のハタのような風）を作ってよく飛ばしていた。お店には奴風がよく売られていた。ゲイラカイトと呼ばれるアメリカの会社が作った風が出てきて、一世を風靡したのもこの頃である。

小学校で昔遊びが伝承されていることを耳にするが、このようなお正月の風物詩がほとんど見られなくなったのは寂しい。こう思っているのはきっと私だけではないと思う。

